

報道関係各位

2025年8月4日

## 使いたい機器が全部つながる 持ち運びも簡単な 12口100V コンセント 「コンセントボックス OB100S-R12」レンタル開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、イベントや災害時などに複数の機器へ同時に給電ができる電源ユニット「コンセントボックス OB100S-R12」のレンタルを 2025年8月4日(月)から開始いたします。



これまでイベントや災害時の電力供給において、大型で重量のある分電盤を現地まで運搬・設置する必要があり、機動性や作業効率の面で大きな課題となっていました。アクティオはこうした課題解決を目指し、現場から寄せられたニーズや要望をもとに、株式会社やまびこと共同で「コンセントボックス OB100S-R12」を開発しました。

本製品は、14.6kg という軽量設計により持ち運びが容易で、単相 3 線※出力端子に接続することで最大 12 個の 100V コンセントが使用可能です。軽さと利便性を兼ね備えており、緊急時でも素早く設置できる機能性を実現しています。

発電機への取り付けは、ロープ掛け金具に U リングフックを掛けるだけのシンプルな構造です。また、「簡易着脱構造(U リングフック)」により、発電機以外のさまざまな場所にも設置可能なため、現場での柔軟な対応と作業効率の向上に貢献します。

さらに、コンセント接続中でも蓋を閉じられる構造により、雨水やホコリから接続部をしっかりと保護し、雨天時の使用でも内部への水の侵入を防ぎ、漏電リスクを大幅に低減します。

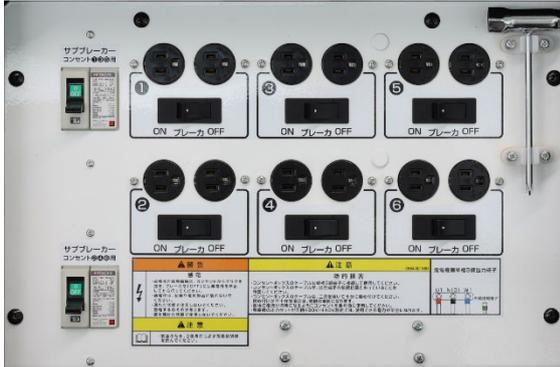
アクティオは今後も「レンタルティンギング」のノウハウを活かし、作業効率向上と安全性に貢献する製品やサービスを提供していきます。

※ 単相 3 線式電源は、3 本の電線を使い、100V と 200V の両方が使用可能。一般家庭の照明やコンセント、家電製品などに使われる身近な電気

## ■「コンセントボックス OB100S-R12」特長

- ①12口の100Vコンセントを搭載し、複数の機器への電源供給が可能
- ②約14kgの軽量設計で持ち運びやすい
- ③緊急時においても迅速な設置が可能
- ④安全面にも配慮し、誰でも使いやすい設計
- ⑤Uリングフックで発電機や様々な設備への着脱が簡単
- ⑥積み重ねて保管可能
- ⑦安全性を重視し、ボックスに南京錠取り付け穴を装備

## ■コンセントパネル



## ■装着



保管時カバー



背面の保管時カバーを取り外し  
ボックス内付属のUリングフックを装着

## ■付属品/その他



付属品  
①接続ケーブル(2m)  
②Uリングフック  
③DGM1000MI用アタッチメント  
④ワッシャー×3枚  
(DGM25MKCなどの単相3線出力  
端子用サイズがM8の場合使用)



コンセントボックスに付属品を収納可能



段積み可能



南京錠施錠で安全を確保

## ■使用シーン



発電機



2トントラック



ガードレール



排風口の穴



金網フェンス

## ■スペック

メーカー	株式会社やまびこ
寸法(L×W×H) (mm)	フック付:555×298×428
	収納時:555×211×428
	蓋開時:555×548×428

※本製品をガードレールや金網フェンス等に設置する際は、対象物の所有者や管理者の許可を得た上でご使用ください

## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp